

草津市立
老上中学校
学校だより
R1(2019)5.15

★ 考 動

【校訓】



新年度がスタートして1ヶ月がたちました。

4月9日(火)、第41回入学式を挙行了しました。188人の新入生一人ひとりの表情から、これから始まる中学校生活への期待が強く感じられました。また、在校生の皆さんも温かく新入生を迎え入れるとともに、上級生としての新たな意気込みを胸に新学期をスタートしました。



それから1ヶ月が過ぎましたが、各学年とも新しい学年の雰囲気にもすっかり慣れてきたようです。1年生は校外学習、3年生は修学旅行を終え、2年生も昨年度に培った力を毎日の生活の中で発揮しています。自分のことはもちろん、周りの仲間も大切に1年にしていきたいと思います。

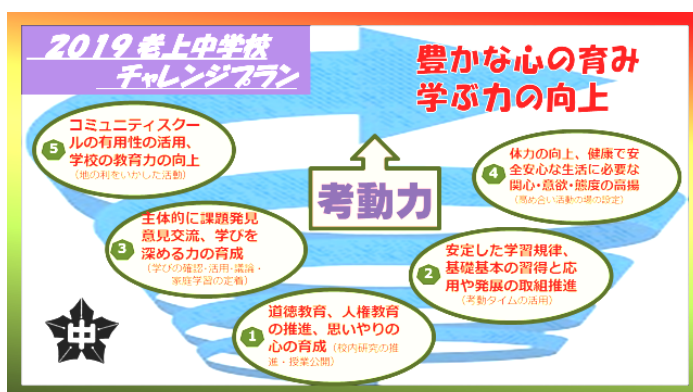


2019老上中学校チャレンジプラン！

本校では、昭和54年の開校以来、「自主・創造」を学校の校訓として、教育活動を積み重ねてきました。本年度は、「自ら考え、正しく判断し行動できる知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい生徒の育成をめざす」ことを学校目標としています。また、めざす生徒像として「考動する生徒になろう、わかりあえる生徒になろう、きたえあう生徒になろう」を合い言葉にしています。本年度の重点目標とその具体的な方策は次のとおりです。

1	道徳教育、人権教育を推進し、生徒の思いやりの心を育てる。	校内研究の推進、学期ごとの授業公開
2	安定した学習規律のもと、基礎・基本の習得とその応用・発展に向けた継続的な取組を推進する。	朝の会・帰りの会の前の考動タイムの活用
3	生徒が主体的に課題を見つけ、互いに意見を交わし、解決に向けて学びを深める力を育てる。	学びの確認と活用機会の設定 議論する授業、家庭学習の定着
4	体力の向上はもとより、健康で安全・安心な生活のために必要な関心・意欲・態度を高める。	生徒相互の高め合い活動の場の設定
5	コミュニティスクールの有用性を活用し、学校の教育力を向上させる。	地の利をいかした活動の展開

この重点目標と具体的な方策をもとに、「考動力」のスパイラルアップ（それぞれを関連させた取組を進め、総合的に考動力を高める。）をめざします。



このチャレンジプランについては、本年度内に2回（前期8月・後期2月予定）の検証・評価を行い、改善を図るとともに、実効性のある計画・実践を図ります。

特に、コミュニティスクールの有用性を活用し、学校の教育力を向上させる観点から、検証と評価については、学校運営協議会において実施します。